



『これからの女性会員増強について』

国際ロータリー第2680地区 会員維持増強委員会

松 嶋 洋 子 様 (西宮イブニングRC)

1. 女性会員をめぐる当地区的現状

日本の女性会員比率は6.7%と世界標準から大きくかけ離れた水準にあります。その日本にあって、かねて当地区的女性比率は全国最下位近くに低迷しています。

現在、地区内の女性ゼロクラブは全71クラブ中29クラブで、全体の4割に上ります。女性比率は10年前の2.7%から4.6%に上昇しましたが、半分は男性会員の減少によるもので、決して喜ばしい状況ではありません。

2. 西宮イブニングRCの事例

西宮エリアでは、人口に占めるロータリアンの割合が低い状況が見て取れます。その要因分析として、もしかすると大阪や神戸に勤務するサラリーマン層や専門職会社員が多い土地柄と、地元経営者中心のロータリークラブとの間にミスマッチがあったのかも知れません。そんな土地柄を意識して設立されたのが、私が居る西宮イブニングRCです。

西宮イブニングRCは2016年の設立で、会員数は15名、うち5名が女性で、女性比率は33%です。勤め人でも出席し易いように、例会は19時15分スタートの45分間、食事は無し、例会場は阪急西宮北口・駅前の公共施設の会議室をお借りしています。

クラブ経費を抑えることで、年会費は12万円で運営しています。それ以外は一般的なクラブの運営と何ら変わることはありません。奉仕と親睦を両輪として、地元の子ども食堂の支援を始め奉仕事業にも取り組んでいます。

当クラブの女性会員の横顔をご紹介します。

入会時の関係性は、①学生時代の友人、②クラブで利用していた飲食店の奥様、③子供を通じてのママ友、④税理士会員の関係先、⑤お子様の友人など。男性同様の関係性もあれば、女性ならではの繋がりから広がったケースもあります。

職業は、研究職、お片付け講師、行政書士、営業社員など。それぞれが自分の得意分野を活かしてクラブの活性化に貢献しています。

クラブ役職もこなしつつ、クラブを超えた奉仕と親睦、そして成長の機会として地区的活動にも積極的です。ロータリーの価値観に照らしても男性会員との違いを感じることはあります。

3. 女性会員候補の「これまで」と「これから」

これまでの会員増強では、女性会員候補の肩書きとしては、医師や士業などの専門職を含む

個人事業者、或いは地元企業経営者が一般的でした。いわゆる名士と言われる方々が候補者の中心であったと拝察します。

しかし、この範囲で考えてしまうと候補者の母集団が余りにも限られてしまいます。

個人事業者、或いは地元企業経営者が一般的でした。いわゆる名士と言われる方々が候補者の中心であったと拝察します。

しかし、この範囲で考えてしまうと候補者の母集団が余りにも限られてしまいます。

これから候補者としては、肩書きではなく個としての資質、即ち、奉仕の気持ちと向上心をポイントとして、幅広く女性全般を視野に入れて頂ければ、と考えます。

私自身のケースを振り返りますと、一般会社員という立場で入会当初は不安な気持ちで一杯でしたが、メンバーが暖かく迎えてくださり、毎週の例会に参加することでどんどん馴染んでいくことができました。

私にとってはクラブだけでなく、地区委員会の活動も貴重なロータリーアクションです。他クラブの方々と接する中で、自分の世界が広がることが大きな楽しみです。

ロータリーを通して、個人では経験できない事業に参加・貢献できること、普通には知り合うことのできない方々と知り合えること、そして、メンバー同士の親睦の中で良い学びができていることに魅力を感じています。

恐らくは、一般的な会社員やかつて職業人だった女性の中にも、私のようにロータリーの価値を感じる人は少なくないでしょう。ぜひ各地のロータリークラブが「リーダーの学び舎」として、こうした潜在的会員の成長の受け皿になって頂ければと願います。

彼等の受け皿となるには、クラブの側でも例会の持ち方や年会費の面で工夫を要するかも知れません。例えばZoomの活用や、夜間例会へのシフトも一案です。

これまで皆様が受け継いでこられたロータリーの本義やクラブの文化は大切に継承しながらも、一方で社会の変化を受け容れて変わっていくことも必要です。クラブの将来を考えば、その価値はあると考えます。

4. 女性会員候補へのアプローチ

何名かの女性会員に、入会の決め手やタイミングを聞いてみました。ライフスタイルの変化や、推薦者の安心感、或いは具体的な活動のイメージ。こうした一つ一つがポイントとなって入会に繋がっています。

候補者にお話をされる際、オススメの口説き文句、世界が広がるキラーワードがあります。即ち、「仕事、プライベート、ロータリーと3つのライフスタイルができる！」の一言です。

当人にとっては自分を活かせる場所が一つ増えることになります。人生に悩んだときに相談できる環境ができます。奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップという価値観を大切にしている仲間が世界中にできます。こんなご縁は、人生に於いてなかなか得難いことです。

女性候補を口説く際には、ぜひこの一言を添えてみてください。

以上